



アンビシヤス



病の中に
自分を置くのではなく、
自分の中に病がある

表紙は語る

「多発性硬化症(MS)」

アンビシヤス通信

9月の報告あれこれ

こころの現場から

つぶやきチャンネル

シリーズ 第31回

『患者学』 加藤 眞三教授

アンビシヤス広場

エッセイ 西兼盛 鉄さん

難病短歌・川柳

お勧め映画情報

占い

沖縄県難病団体の掲示板

団体定例会・交流会スケジュール

患者団体からのおたより

沖縄県内難病患者団体一覧

編集後記

アンビシヤスメモ

保健所からのご案内

平成29年度

訓練生募集の案内

平成29年度

セカンドオピニオンのご案内

表紙は語る 上原 稚菜(うえはらわかな)さん 多発性硬化症(MS)

病の中に自分を置くのではなく、 自分の中に病がある



可愛い姪っ子と。

私が抱えている病は「多発性硬化症(MS)」という病気です。まだ発症歴にすると半年位の付き合いになります。しかし、この病気と分かるまでにはかなり

の時間がかかりました。最初に自覚症状があったのは今年の3月中旬頃でした。左の手の平全体がビリビリと痺れるのです。その当時、私は事務の

仕事をしておりデスクワークでパソコンを使う作業をフルタイムで行っていたので、その疲れからきたのだろう、とあまり深く考えることはありませんでした。しかし、両親にその事を伝えると「手の痺れは良くないから病院に行きなさい」との事でした。私自身は「病院に行く程の事ではないだろう」と思っていたのですが多少気になっていたし、念の為ということ地元にある整形外科を受診しました。

その日は首のレントゲンだけ撮ったのですが、特に異常はありませんでした。医師によると痺れは主に首か脳に異常があるときに出るということで、脳外科を受診するように勧められ、紹介状を書いてもらいました。その後、すぐにその紹介された脳外科を受診し初めてMRIを撮りました。診察をすると、医師から「隠れ脳梗塞が数か所にあるが、今回の痺れとは全く無関係で分らない」と言われてしまいました。結局、その時は分からずじまいで家路につきましたが、その頃からどんどん症状が悪化していきます。

今年5月頃には左手の痺れの他に左足全体の感覚も鈍り、少し歩くのもとてもしんどくなりました。その他にも今まで感じたことのなかった肩こりや首の凝りが酷くなり、会社に出社するのも一苦労で休みがちになりました。原因不明の痺れ、数々の体調不良に伴う不安感から、夜もまともに寝れず、精神的にも脆くなっていたように思います。「このままではいけない」と思い初めに受診した整形外科に再度赴き脳外科では特に異常がなかった事、症状が悪化している事を伝えました。医師も私の話を聞いて首を傾げてはいましたが、念の為首のMRIも撮ってみようか、ということになりMRIを撮りました。検査結果が1週間ほどで分かるこの事だったので、私にはこの1週間がとて長く感じたもの

です。半ば祈る気持ちで、病院に行くとき医師はとても深刻そうな表情で「脊髄の部分に白い影が2か所できていて腫瘍の可能性もあるから大きい病院で詳しく調べてもらいなさい」との事でした。はつきりと写った白い影を見せられて、ショックで言葉も出ず、話を聞くのが精一杯でした。

それから様々な病院を転々とし、検査を一から取り直し、腫瘍ではないことがわかりましたが、多発性硬化症の可能性が高いと言われました。多発性硬化症???

初めて聞く病名だったのですぐにインターネットで多発性硬化症について調べました。すると、神経の難病ということが分かり、絶望感で涙が止まりませんでした。

最終的に神経内科のある沖縄病院を受診するように言われ、初めての診察の日がやってきました。私はとても怖くて微かに震えていました。あんなに病院から抜け出したい、と思ったのは初めてだと思います。しかし、その不安も担当した今の主治医との出会いですぐに拭い去りました。私の質問に1つ1つ丁寧に答えてくれて私の抱えている不安

や恐さも汲み取って対応してくれて、時間をかけて相談に乗ってくれたからです。「ネット情報は誤情報もあり、全て鵜呑みにしてはいけないし、早期に治療すればある程度症状を抑えられる」という言葉にようやく希望の光が少し見えたような気がしました。得体の知れない恐怖から解放された気分でもありました。

それから検査入院を経ての治療というところで3週間入院し、今年8月、多発性硬化症と医師から告げられました。3日間のステロイド治療を行い、安静期間の後、退院という流れでしたが私にはまた違う悩みが来ていて退院を素直に喜べずにいました。再発の恐怖や将来への不安、病気の付き合い方が分からなくて怖かったのです。その事を主治医に相談すると、「再発はいつ起こるか分からないけれど、怖がってばかりの人生で後ろ向きになるより、今出来る事を一生懸命やるのが上原さん出来る事じゃない?」「病の中に自分を置くのではなく自分の中に病があると思っただけ」と言われて、その言葉にハッとしました。

病気になるまで何気なく一日一日を過ごしてきた私。健康にも気を遣っていたし、病とは無縁だと思っていました。それがある日、謎の体調不良に襲われ、様々な病院を転々とし多発性硬化症という現時点では完治しない病だと告げられた時初めて健康の有難さを知り、手足が自由に動く事や目が見える事、耳が聞こえる事、当たり前だと思っていた全てが当たり前のように、全く当たり前前なんかじゃない事に気付きました。

思えば、病を告知された時、とてもショックで落ち込んでいた私の支えとなってくれたのは



仲良しメンバーと久しぶりの再会

語者プロフィール

上原 稚菜

(うへはら わかな)さん

出身地：1986年 糸満市生まれ

【趣味】音楽鑑賞、三線、料理、ドライブ

【最近の楽しみ】夕暮れの散歩、晴れた日に遠出しながらのピクニック

【好きな言葉】一期一会

【好きな食べ物】サラダ、パスタ

【好きな動物】犬

家族や友人でした。彼らが居なければ私は今でも立ち直る事は難しかったと思います。とても感謝しています。まだまだ病とは付き合ったばかりで落ち込むこともたまにはありますが、全体的な事や出会いに感謝し、今私に出来る事を精一杯頑張つて、少しでも同病の方の励みになればいいなあと思ひ、今回投稿させて頂きました。

いつか、この病気が完治できる病となりますように心から祈っています。

9月の報告

あれこれ



日本難病医療

ネットワーク学会学術

集會に参加

9月29、30日に金沢で開催された「日本難病医療ネットワーク学会学術集會」に相談員2名で参加してきました。全国の医師、看護師、作業(OT)・理学(PT)療法士など医療従事者をはじめ、難病相談支援センターの相談員や難病の当事者の方など400名以上の方が参加されていました。潰瘍性大腸炎と多発性硬化症のセミナーでは大まかな全体像を把握できました。

また病理・告知技術や在宅療養など多職種の方による様々なジャンルの発表があり、職種が変われば視点も変わるもので、気付きの多い活発な意見交換の場となりました。

その中で特に注目した、災害関連、就労関連、コミュニケーション支援関連を選抜して受講しました。

今回、沖縄からはアンビシャス2名の他1名、計3名の参加でした。この学術集會で知りえた知見をどうやって沖縄の現場で活用し広げるかが今後の課題になります。これまで以上に多職種の参加者が増えることを祈念します。

9月の寄付

9月28日(木)三和金属様より10万円の寄付を頂戴しました。三和金属様は創立記念日に合わせ毎年のように50近くの県内福祉団体へ、同社の収益の中から継続的に寄付されています。三和金属の社員のみな様本当にありがとうございます。



また、首里城下町クリニック第1・第2を運営する医療法人麻の会様よりも10万円の寄付を頂戴しました。その他9月は有限会社セイアン様や匿名の寄付者、毎月継続寄付で異業種横断親睦模合の驥尾の会、個人の毎月継続寄付の方々等8件の寄付をお寄せ頂きました。アンビシャスの難病支援活動はこの様な多くのみな様に支えられています。ここに改めて深く感謝申し上げます。

学生ボランティア

沖縄大学の福祉専攻の学生からボランティアをしたいとお申し出を受けました。非常にありがたい事ではありますが、アンビシャスでは講演会等を除き日常的にボランティアを必要とすることはほとんどありません。しかしながら難病をお持ちの方が相談センターの存在を知らない事も多々あり、皆さんへは、アンビシャスの周知に協力してもらおうことが日常的に出来る最大のボランティアであり、お願いです。

今回の学生さんは、ボランティアを通してアンビシャスへの理解

を深めたいとの要望でしたので、最初の1時間はアンビシャスの役割や活動内容の説明をし、その後は事務所の床掃除とワックスをして頂きました。事務所の床にワックス掛けをするのは年末の大掃除の日くらいしかなく非常に助かりました。ワックスを二度塗りし終わり、ピカピカ光っている床を見て、学生さんと一緒に達成感を得ることが出来ました。今後は出来たら毎月綺麗にしたい思いますので、ボランティア希望の方は是非宜しくお願いします。



こころの現場から いつでも人の尊厳を：

あなたには本音で話せる人がいますか？いつでも誰にでも本音で話している方もいらつしやると思いますが、本音で話ができる人は限られているかまかつたくないという方もいらつしやるでしょう。本音で人と話をするのができるか否かは、人間関係がどの程度信頼に満ちているものかという指標にもなり得ます。もちろん相手への想いや期待がどの程度のものであるかは大いに関係しますし、これまでの生育歴がどの程度安心できるものであつたかということも関係してきます。これからの人間関係を含めた自分の生き方をどのようにしたいかという望みも含まれています。

理由もあります。本音で話をする事ができる環境に恵まれてこなかったということもあります。だから攻撃をしてくる人がいたら、

「ああ、この人は人間を信頼することができない人なんだ」「これまでの人生でよほどたいへんなことがあつた人なのかな」とこころの片隅で思うことができる、たとえ酷い攻撃をされても相手と同じ土俵に上がることなく対応ができ、相手との関係をこれ以上悪化させることなく、自分の人間としての尊厳の低下を防ぐことができると思います。

人は、金銭的に苦しかったり、人の生死を目前にした状況になったり、切羽詰まつた状況に陥つたりすると、心中穏やかにいることが困難になります。

それでも、礼儀を欠いたり弱いものに八つ当たりしたりせずにごすことができるような

こころの強さを
培いたいものです。



土里依里
心理臨床士
鎌田 依里
(かまだ えり)

つばやまキャンパル 県外研修会参加費の資金援助

毎年、この時期になると研修会や学会で県外に出かけることが多くなります。全国の難病に関わる医療や介護など多職種の方の知見発表を聞いて、知識を広げ深めることも出来ます。演者への質問や懇親会での情報交換を通じ、顔の見える関係をつくることもできます。

このような経験を毎年積むことにより、沖縄における難病相談支援センターとしてのアンビシャスの役割を果たすことが出来るようになってきました。しかし、私ひとりの参加ではその効果は限定的なものとなります。当センターの底上げを図り、多くの難病の方へお役にたつ相談員を育成するため、他の相談員も参加させたいのですが、予算にも限りがありなかなか難しいです。難病相談員向けワークショップ、難病医療ネットワーク学会、全国難病センター研究会は年二回あり、その研修会に参加して吸収した知見については、県内保健所での研修会や支援者向け研修会などの発表や説明でより多くの方へその知見を広げることが出来ます。

また、日常の電話相談や面談においても役立てることが出来ます。

これら知見を得る為の研修会への参加費用は県からの委託費だけでは賄えず、是非皆さまからのご支援を賜りたくこの場を借りてお願いする次第です。



通名喜照
著

シリーズ「患者学」第31回

慶應義塾大学看護医療学部
教授 加藤 眞三

小林麻央さんの生き方に学ぶ その4

小林麻央さんの闘病生活について考える時、避けて通ることができないのは代替医療をどうあつかうかの問題です。代替医療といつても色々なものがあるため、それらをひとまとめに話すことは難しいという面があります。もう一つの難しい側面は、科学的な現代(西洋)医学と代替医療をどのように調整するかという点です。この二つが上手く調整できれば統合された医療、すなわち統合医療ということになります。実際には統合することはとても困難です。

代替医療には、長い歴史を持つ中医(わが国では漢方)や鍼灸、アユルヴェーダなどがありますし、比較的新しく生まれたホメオパシーやオステオパシー・整体なども含まれます。また、祈祷やお祓いなどシャーマンによる医療も含まれます。沖繩は現代医学とシャーマンとしてのユタが上手く共存できている地域の二つです。多分、近所の評判で訪れても、最初から

100%は信用しないで、自分で信用するかどうかを決めているのではないのでしょうか。そのことは現代医学でも代替医学でも同じです。最後は自分で判断することです。

ややこしいのは、最近では近代科学を装った医療として、温熱免疫療法や水素水療法、高濃度ビタミンC点滴療法なども代替医療としてあげられます。インターネット上には、これらの療法に関する宣伝があふれており、がんや難病で悩む人を惹きつけます。元〇〇大学教授が開発したとか、エビジェネティック療法や樹状細胞などの科学的な用語を権威付けとして巧みに使い、しかもホームページも上手く作られ、診療施設もきれいなため、それだけで信用してしまうのかもしれない。

科学を装った治療法を見分けるためには、かなり専門的な知識が必要となりますが、もし、一般市民として見分けたいなら、この医者の主目的が金儲けかどうかを基準にみれば、見分けやすいのではない

でしょうか。そして、騙されたいためには、信用のできる人に必ず相談してみる事です。

お金や地位をもつ人、有名人が騙されやすいのは、騙そうとする人がターゲットにして近づいてくるからという面もありますが、騙されてしまう人は、自分の立場を利用して、他の人が受けられない治療も受けることができるはずだと考えてしまうからという面もあります。

高額な費用をかければがんが治る、あるいは情報を集めるのが得意であれば、がんが治るということであるとすると、アップル社の創始者スティーブ・ジョブズは膀胱腫瘍であんな死に方をすることとはなかつたはず。ジョブズ氏は世界で一番の金持ちでもあり情報収集の専門家でもあります。それでも失敗してしまうほど、金と情報だけではどうにもならないことがあるということ。一番大切なことは現代医学を最初から否定しないことです。現代医学では、科学的な手法によって効果が認められたものが残りま

す。その反面、副作用の大きい治療法があり、副作用の出現は個人差も大きいのです。その副作用と治療効果の兼ねあいの中で決めてい

くことになります。

現代医学は日進月歩ですから、以前はインターフェロン注射の副作用が強くて治療を受けられなかったC型肝炎の患者さんも、今では、経口薬を飲むだけで完治する時代となりました。常に、最新の治療に関する情報をえておくことが望まれます。新しい治療は古い治療との比較の上でよりよいと認められたものが標準治療になつていくからです。

それでも、標準治療がダメなら代替療法へと進むことになります。標準治療をうけながら代替療法でもよいのですが、まずは、標準治療をよく知ってください。次号に続く。

加藤 眞三

1980年、慶應義塾大学医学部卒業。85年、同大学大学院医学研究科修了、医学博士。85-88年、米国ニューヨーク市立大学マウントサイナイ医学部研究員。都立広尾病院内科医長、慶應義塾大学医学部内科専任講師(消化器内科)を経て、現在、慶應義塾大学看護医療学部教授(慢性病態学、終末期病態学担当)。

患者の力:

患者学で見た医療の新しい姿
出版社: 春秋社

「患者には力がある」毎日を健康に生きるために、真の患者中心の医療を実現するために、いま必要なことは。



東洋経済オンラインに加藤先生による
「市民のための患者学」連載配信中!

<http://toyokeizai.net/articles/-/143366>



沖縄県内 難病患者団体 掲示板

2017年 11月の各団体定例会・交流会スケジュール

団体名	日(曜日)	時間	場所
全国膠原病友の会・沖縄県支部 (中部地区)	4日(土)	14:00~16:00	沖縄市社会福祉センター ゆい工房
もやの会沖縄県ブロック	5日(日)	13:30~16:00	浦添市てだこホール 多目的室 (医療講演会) 詳細問合せ左記金城迄
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会	8日(水)	19:00~21:00	那覇市保健所3階
八重山クローン病・潰瘍性大腸炎患者・家族の会	11日(土)	14:00~16:00	八重山保健所
あいのかい 愛・Eyeの会(宮古地区・網膜色素変性症患者会)	11日(土)	14:00~16:00	宮古保健所1階 危機管理室
OPLL (後縦・黄色靭帯骨化症) 友の会	11日(土)	18:00~22:00	カラオケヒルズJoy Yu~Bi(新都心メガネ一番2F) 参加費1,780円から 詳細問合せ左記 黒島迄
全国膠原病友の会・沖縄県支部	12日(日)	14:00~16:00	那覇市保健所 3階 多目的室
神経難病友の会八重山	16日(木)	14:00~16:00	福祉センターボランティア推進室
四つ葉の会 (宮古膠原病友の会)	18日(土)	14:00~16:00	福祉センターボランティア推進室
MS友の会(多発性硬化症・視神経脊髄炎)	19日(日)	16:00~18:00	有料老人ホームうえた2号館 4階デイサービス(豊見城市上田1-1)
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会 (中部地区)	21日(火)	19:00~21:00	沖縄市福祉文化プラザ研修室2
強皮症・皮膚筋炎ゆんたく会	22日(水)	14:00~16:00	南風原町社会福祉センターちむぐる館 参加希望の方は左記迄ご連絡をお願いします。
脊髄小脳変性症/多系統萎縮症 那覇・南部患者の会	26日(日)	14:00~16:00	南風原町社会福祉センターちむぐる館 (予定 詳細問合せ左記 井上迄)
ベーチェット病友の会 (仮称)	26日(日)	14:00~16:00	沖縄市福祉文化プラザ研修室2 問合せ 090-9577-8846(新垣)まで
全国パーキンソン病友の会沖縄県支部	26日(日)	13:00~16:00	那覇市保健所3階

※詳細は左記患者団体連絡先へお問合せください。



患者団体からのおたより

脊髄小脳変性症・多系統萎縮症 中部患者・家族会より

当会は中部地区の脊髄小脳変性症・多系統萎縮症の患者家族の交流会です。

会員のみな様がりハビリ等でお世話になっているコザクリニックスさんの研修室をお借りして3ヶ月に1回くらいのペースで交流会を開いています。

今回は「スマイルプラン元気のたね」の桑江様「ケアプラン沖縄」の當間様お二人の介護支援員による「地域で活用できる公的支援」についての勉強会を行いました。各市町村によって多少の違いはあるものの、助成制度の大まかな仕組みを教えてくださいました。

患者・家族をいれて5~8名程の小所帯ですが、みんな仲良く和気あいあいとやっています。時々那覇・南部の会とも連絡を取り合い情報交換をしています。余り大げさに構えず一歩一歩着実に進めばいいかなと思っています。

中部地区の同病の方やご家族のみなさん、お気軽に参加しませんか。お問合せは

仲西までお願いします。

沖縄県内難病患者団体一覧

団体名	代表者	連絡先
OPLL(後縦・黄色靭帯骨化症)友の会	黒 島	
脊髄小脳変性症/多系統萎縮症 那覇・南部患者の会	井上 栄治	
沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎 友の会	宮本 勝也	
全国膠原病友の会 沖縄県支部	阿波連のり子	
もやの会沖縄県ブロック	金城 忠英	
全国パーキンソン病友の会 沖縄県支部	又吉 忠常	
日本ALS協会 沖縄県支部	中村 勉	
全国筋無力症友の会 沖縄県支部	上原 アイ子	
沖縄県網膜色素変性症協会	長嶺 房子	
神経難病友の会八重山	松藤 純	
八重山クローン病・ 潰瘍性大腸炎患者 家族の集い	内間 洋子 村山 盛有	
強皮症・皮膚筋炎ゆんたく会	伊是名恵子	
MS友の会(多発性硬化症・視神経脊髄炎)	仲里 清彦	
四つ葉の会 (宮古膠原病友の会)	下地 ヒロ子	
とぅんがらの会(宮古神経難病・患者家族のつどい)	砂川 泰彦	
脊髄小脳変性症・多系統萎縮症 中部患者・家族会	仲西 智春	
沖縄サルコイドーシス友の会	祖堅 善樹	

編集後記

南国沖縄にもやつと秋の気配、朝夕
だいぶ涼しくなりました。日頃の運動
不足解消を兼ね景色を眺めながらの
散策は如何でしょうか。

さて今月の「表紙は語る」は多発硬
化症の上原さんに体験談をお寄せ頂
きました。

発症したばかりで大きな不安や戸
惑いの中、信頼できる医師、家族や友
人の支えを受け病と真正面から向き
合う姿勢が語られています。またネッ
ト情報に惑わされた事など、難病と告
げられ不安がつのる他の方々にも参考
となるお話かと思えます。上原さん貴
重な体験談ありがとうございます。

最後に今月号の10頁は那覇市保健
所の2つの医療講演会、職業訓練校の
訓練生募集、セカンドオピニオン(1部
広告欄にも掲載)とご案内事項が多く、
窮屈で読みづらい紙面になりました。
難病をお持ちのみな様に「必要と思わ
れる情報は洩れなくお伝えしたい」と
の思いをお汲み取り頂き、平にご容赦
願います。今後とも多くの情報提供と
読みやすい紙面の両立に努めて参りま
すので、ご意見、ご感想等をお寄せく
ださい。可能な限り誌面作りに活かし
て参ります。

文 仲村明



2017年11月の各保健所からのご案内

【北部保健所】Tel:0980-52-2704

【中部保健所】Tel:098-938-9883

【南部保健所】Tel:098-889-6945

【宮古保健所】Tel:0980-72-8447

【八重山保健所】Tel:0980-82-3241

11月の予定はございません。

【那覇市保健所】Tel:098-853-7962

難病医療講演会（会場：那覇市保健所3階13:00～15:30）

【第1回】11月10日(金) 対象者:全身性エリテマトーデスをお持ちの患者・家族

「全身性エリテマトーデス ～病気と上手につきあう方法～」

講師：比嘉 啓先生（首里城下町クリニック第二院長）

「難病患者就職サポーターの役割」

講師：内菌 加代子 氏

（ハローワーク那覇 専門援助部門 難病患者就職サポーター）

「難病患者のための就労支援について」

講師：照喜名 通 氏

（沖縄県難病相談支援センターアンビシャス センター長）

【第2回】11月29日(水) 対象者:クローン病・潰瘍性大腸炎をお持ちの患者・家族

「クローン病と潰瘍性大腸炎 ～病気と上手につきあう方法～」

講師：金城 徹 先生（琉球大学医学部附属病院 光学医療診療部 消化管グループ長）

「難病患者就職サポーターの役割」

講師：内菌 加代子 氏

（ハローワーク那覇 専門援助部門 難病患者就職サポーター）

「難病患者のための就労支援について」

講師：照喜名 通 氏

（沖縄県難病相談支援センターアンビシャス センター長）

訓練生募集のご案内 | 11月開講【募集期間:平成29年11月1日(水)～平成29年11月24日(金)】

コース名:パソコンビジネス科		コースの種類:知識・技能	
訓練期間:2018.1/4(木)～3/30(金)【3か月】	定員:10名	管轄:浦添校	
募集対象:身体(上肢、下肢、視覚、聴覚、内部障害)、精神、発達、その他(高次脳機能障害、難病等)			
訓練内容:Word・Excel等のソフト操作を身に付け、文書作成から表計算処理等、一般事務・経理・営業事務等で必要とされる技能を習得する。			
【学科】職業生活訓練、SST(スキルアップ)、就職支援			
【実技】Windows基礎、ワード実践、エクセル実践、パワーポイント、検定対策			
【取得目標資格】・サーティファイ主催 Word文書技能認定試験2級～3級・サーティファイ主催 Excel表計算処理技能評価試験2級～3級			
訓練実施場所:那覇市	問合窓口:浦添職業能力開発校(098-879-2560) 委託先:株式会社ワイエムシ(098-887-5278)		

平成29年度セカンドオピニオンのご案内

消化器系疾患 医療相談会のご案内!

対象:クローン病・潰瘍性大腸炎

日時:平成29年12月16日(土)14:00～16:00

場所:沖縄県難病相談支援センターアンビシャス

医師:金城 福則 先生(浦添総合病院)

定員:4名(1人30分 先着予約制)

昨年に引き続き循環器系疾患の医療相談会開催!

対象:循環器系疾患(特発性拡張型心筋症、肥大型心筋症、肺高血圧系疾患等)

※日時は、疾患や状態により対応医師と日程が異なる場合がございます。

場所:沖縄県難病相談支援センターアンビシャス

医師:琉球大学附属病院 循環器専門医師グループ

定員:4名(1人30分 先着予約制)

詳細問合せ:沖縄県難病相談支援センターアンビシャス(那覇市牧志3-24-29グレイスハイム喜納2-1階)

ご寄付・ご支援・ご協力ありがとうございます 順不同敬称略

サポート・パートナー法人 ●全保連株式会社 ●株式会社アイアム ●株式会社いなんせ典礼
 毎月定期ご寄付の方々 ●驥尾の会 ●株式会社ぼーしょん ●匿名2名
 9月のご寄付 ●三和金属株式会社 ●有限会社 セイアン ●幸地 晃正
 ●医療法人 麻の会 理事長 田名 毅

※ホームページにも掲載しております。アンビシャスホームページにあるコンテンツより「寄付した方々/今年度」をご参照ください。

9月のご支援・ご協力

●難病情報誌185号の折り曲げボランティアとして参加して頂いた方々

指定障がい福祉サービス事業所「あるにこ」さん

●有限会社FECオフィスより旗揚げ24周年記念公演の優待チケットを8枚頂きました。

※千羽鶴ボランティアのみな様へ ※現在折鶴の在庫が多く、誠に勝手ながら暫らく折鶴の受け入れをご遠慮させていただきます。

募金箱設置ありがとうございます 順不同敬称略

●フォーモストブルーシール北谷店 ●MISTY本店・美浜店 ●株式会社K.Turtles ●有限会社育英堂書房
 ●てだこボウル ●西崎オートサービス ●マリンショップぶくぶく ●花野原 ●株式会社照正組 ●三郎寿し
 ●ホテルまるき ●水のサンクス ●株式会社メガネ一番 ●株式会社琉薬 ●恒和ペイント株式会社
 ●さわやか歯科クリニック ●海岸創庫21 ●auショップ久茂地店 ●沖縄県栄養士会 ●ジョッキハウス
 ●T-SHIRT-YA.COM国際通り店・北谷店 ●カラカラとちぶぐわ~ ●山城二輪 ●ギャラリーカフェ 海ばたー
 ●しゃしんやきんちゃんDigi-pit店 ●日本交通株式会社 ●沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ
 ●豚骨拉麺昇家 ●沖縄ちゃんぷるーネット(イオン那覇店1階) ●マヤMAYA ●沖縄宝島(イオン南風原店1階)
 ●沖縄トヨペット株式会社港川店・中部店・小禄サザン店 ●八重山そばびんだま ●串焼き屋あだん ●上間菓子店
 ●社団法人全国個人タクシー協会沖縄支部 ●全保連株式会社 ●シャトル・ケア ●全保連コントロールセンター
 ●有限会社だいにちシール ●オリオンビール株式会社 ●株式会社かりさら ●メディケアセンター
 ●HAIR&MAKE EARTH沖縄新都心店 ●株式会社いなんせ典礼 ●2 Da TOP(ツダトップ)ダンススタジオ

法人賛助会員 順不同敬称略

●全保連株式会社 ●沖縄トヨペット株式会社 ●株式会社 アイアム ●弁護士法人 岡野法律事務所
 ●株式会社クオサ ●医療法人かなの会コザクリニック ●さわやか歯科クリニック ●日本交通株式会社
 ●しゅくみね内科 ●有限会社太陽印刷 ●株式会社 メガネ一番 ●株式会社 名城 ●高良登記測量事務所
 ●オリオンビール株式会社 ●株式会社さざまみダンボール ●水のサンクス ●社団法人 沖縄県栄養士会
 ●株式会社 アクティブ ●株式会社 長堂材木店 ●株式会社アース ●プログレス ●有限会社 沖縄矢崎販売
 ●ふたば訪問看護ステーション ●株式会社 ぼーしょん ●テルモ株式会社 ●株式会社 舜 ●中部協同病院
 ●南西医療器株式会社 ●株式会社いなんせ典礼 ●有限会社 麦飯石の水 ●訪問看護ステーションいのり
 ●友愛会 訪問看護ステーション ●株式会社大成ホーム ●株式会社ケアコネクト ●たつや脳神経外科
 ●いくみ皮ふ科クリニック ●かなしる内科 ●首里城下町クリニック第一 ●首里城下町クリニック第二
 ●外間眼科 ●西崎病院 ●岸本 外科リハビリクリニック ●大宮医院 ●きなクリニック
 ●訪問看護ステーション みかん ●愛聖クリニック ●しんざと内科 ●沖縄病院 ●稲福内科医院
 ●牧港眼科 ●伊佐内科クリニック ●訪問看護ステーションうんな ●こころクリニック ●嶺井第一病院
 ●恩納クリニック ●こばし内科クリニック ●南部徳洲会病院 ●城間クリニック ●長濱眼科
 ●株式会社ケイオパートナーズ ●なかむら内科おなかクリニック ●はいさいクリニック ●潮平病院
 ●ハピネス訪問看護ステーション ●りゅしん老人訪問看護ステーション

難病無料相談(電話・来所・メール・FAX) 難病のこと、それに伴う不安や家庭・職場での悩みのご相談をお受けします。

☎098-951-0567 ☑info@ambitious.or.jp

平日10:00~17:00(休:土日祝日・年末年始)

※ご相談内容・個人情報については「守秘義務」を厳守します。※面談ご希望の方は、事前にご予約ください。

アンビシャス 〒900-0013 沖縄県那覇市牧志3-24-29(グレイスハイム喜納2 1F)

Tel:098-951-0567(代表) http://www.ambitious.or.jp

発行元/沖縄県難病相談支援センター アンビシャス(認定NPO法人) 理事長:迫 幸治



私たちは、沖縄県難病相談支援センターアンビシャスの活動を応援しています！



Zenhoren

全保連株式会社 代表取締役 迫 幸治
〒900-0003 那覇市安謝2丁目2番5号 TEL.098-866-4901(代表)



RYUKYU GOLDEN KINGS
http://www.okinawa-basketball.jp
facebook:Ryukyu Golden Kings Official
TEL:098-897-7331 e-mail:customer@okinawa-basketball.jp

MARKX PRIUS AQUA ALPHARD Esquire

Answer for you. TOYOPET

沖縄トヨペット

学問なき経験は、経験なき学問に勝る。

Answer for you. TOYOPET

複写機・OA機器リース、レンタル、
オフィス家具までトータル提案



株式会社クオサ
kuosa

本社:〒901-2201 沖縄県浦添市勢理客1丁目20番14号 2F
Tel: 098-879-0162 Fax: 098-879-0198
北部営業所:〒905-0016 沖縄県名護市大東2丁目14番3号
Tel: 098-051-1600 Fax: 098-051-1601
宮古営業所:〒906-0014 沖縄県宮古島市平良松原534-6
Tel: 098-079-5751 Fax: 098-079-5752

ヴィクサーレ沖縄FCを応援しています。



とちかおくちょうさし

土地家屋調査士
伊波 学 098-897-1245

http://w1.nirai.ne.jp/mabu05/
e-mail:mabu05@nirai.ne.jp



Otsuka-people creating new products
for better health worldwide



Otsuka 大塚製薬株式会社
東京都千代田区神田可町2-9

平成29年度セカンドオピニオンのご案内
今年度より新たに腎臓系疾患の
医療相談会が加わりました！

対象：腎臓系疾患

日時：平成29年11月14日(火)14:00～16:00

場所：沖縄県難病相談支援センターアンビシャス
(那覇市牧志3-24-29グレイスハイム喜納2-1階)

医師：宮城 剛志 先生 (琉球大学附属病院)

定員：4名 (1人30分 先着予約制)

就労についてのお悩み、
一人で悩まず相談してみませんか？

- ・利用できるサービスを知りたい。
- ・難病であることを周りに伝えた方がいいだろうか？
- ・難病の方の就労にどんな配慮が必要か？…etc

難病をお持ちの方、事業主の方など、
お気軽にご相談ください!! 相談は無料です。

沖縄県難病相談支援センター アンビシャス
Tel:098-951-0567 Mail:info@ambitious.or.jp